

追手門学院大学

校友会会報



第79号
平成27年(2015年)3月1日
発行者 〒567-8502
茨木市西安威2-1-15
追手門学院大学校友会
会長 林田 隆行
電話 072-643-6135
FAX 072-643-6099
URL <http://www.otemon.org>
E-mail info@ogu-koyukai.com

ご卒業・ご入会 おめでとう ございます



追手門学院大学校友会

会長 林田 隆行(二期)

二〇一四年度卒業生のみ
なさん、大学ご卒業、誠に
めでとうございます。

心からお慶び申し上げます。
安威の丘で過ごされた学生
生活とそこで得られた友
人や恩師との交わりは、こ
れから歩んで行かれる長い人
生において心の支えになるも
のと思います。また、母校の
追手門学院大学を卒業され
社会人になられたということ
は、同時に我々卒業生の仲間
になられたということです。
大学校友会へのご入会、
誠におめでとうございます。
追手門学院大学の卒業生
は、今や四万人を超え、それ

大川さくらクルーズ ご案内

主催:追手門学院大学 校友会

校友会では、「大川さくらクルーズ」を企画しました。

春の宵は、値千金と申します。

今年も、春を迎えられた喜びと

花と出合えた喜びを

追大ファミリーたちと分かち会おうではありませんか。

皆さんの積極的なご参加お待ちしております。



追手門学院 大阪城スクエア

大阪城が一望できる絶好のロケ
ーションにあり、400人収容可能のホ
ール等、様々なスペースがあります。

校友会の皆様、お気軽にご利用し
て頂きたいお問い合わせ及びご来館
お待ちしております。



ホームページからのお申し込み方法

ホームページの「校友会からのお知らせ&イベント情報」をクリック

お申し込みフォームに必要事項を入力

送信ボタンをクリック

<http://otemon.org/association/hanami2015.html>

FAXでのお申し込み方法

同封の宛名台紙裏側に必要事項を記入

FAX: 072-643-6099

開催日時

2015年
4月12日(日)
雨天決行

当日スケジュール

10:30 受付開始(大阪城スクエア)
11:00 説明会開始
船着き場案内 航路見どころ案内
乗船船名案内 諸注意事項説明
お弁当・雨合羽・飲み物・ゴミ袋など携帯品配布
※当日ゴミは各自お持ち帰り下さい。
12:00 説明会終了
12:10 「八軒家浜船着場」にて点呼
12:30 乗船
14:30 下船・解散

集合場所

追手門学院 大阪城スクエア
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20

対 象

追手門学院大学校友会の皆様及び、その御家族・御友人の方々、教職員の方々、
その他追手門学院大学在学・追手門学院大学教員後援会
追手門学院大学卒業生保護者の会の方々

募集人員

140名
定員になり次第
締め切らせていただきます

参加費

お一人様5,000円
船代・弁当・飲み物1本
(缶ビール・ノンアルコールビール・お茶)

コース

約90分
天候により変更する場合が
ございます。

募集開始:3月10日頃(会報到着日)より
締 切:3月20日(金)

FAXお申し込み締切
2015年3月20日(金)

お振り込み締切
2015年4月1日(水)

【備 考】大川さくらクルーズは雨天決行です。(屋根付き)

それぞれのお立場でつぱに活
躍されています。みなさんも
諸先輩同様、社会に役立つ
人材として成長され、活躍
されます事をお祈りしてい
ます。それが、我々を育てて
くれた母校に対してできる
恩返しであると思います。

〇〇に頑張りますよ

大学校友会は、新体制に
なつて三年目を迎えるよう
としています。昨年は校友会
総会を優勝ホールにて開催
し、三〇〇名を超える会員
にご参加いただき、また二
号館・四号館において大同窓
会を開催しました。

あわせて、東京から九州
までの各支部名産を含めた
物品販売も実施しました。

昨年は、それに加えて懇親
会も校友会主催とさせてい
ただき、ホームカミング・デー
の一日を校友会が運営させて
いただく事ができました。

今年も二〇一六年の大学
創立五〇周年へ向け、記念
事業を企画実施する予定で
す。会報、ホームページ等
お知らせいたしますので、同
期の方をお誘いあわせのう
え、ぜひご参加ください。
お待ちしております。

未来に 羽ばたけ！



追手門学院

理事長 川原 俊明

みなさん、ご卒業おめでと
うございます。

追手門学院大学での学生
生活を通じて築き上げた人
間関係は人生の宝物です。
授業やサークル・クラブ活
動を通じて、培った体験をフル
に生かしてください。

追手門学院の「独立自彊・
社会有為」という建学の精
神に基づき、社会に有為な
人材として大きく羽ばたけ
て下さい。

追手門学院大学そのもの
も、改革という大きな舵を
切っています。
身近なところでは、スポー
ツ強化の観点から、アメフト

母校の最新情報が届く メルマガに登録を！

校友会では、携帯電話とパ
ソコンにメルマガを配信
しています。

また、携帯電話用のホーム
ページもメルマガでは伝えき
れない情報をリアルタイムにお
伝えできるようになりました。
メルマガ登録と携帯電話へ
のブックマークの登録をお願
いいたします。



携帯・スマホ用

Facebookに 「いいね」を！

校友会では、Facebookの
運用を開始しました。校友会
ホームページ・メルマガジン
と共に、校友会活動並びに母
校のイベント、在校生たちの対
外試合の最新情報をお伝え
したいと考えております。

Facebookならではの、速
攻性や写真を活用し、より充
実した情報をお届けいたし
ます。校友会のみなさまぜひ
アクセスして「いいね」をお願
いいたします。



Facebook I



Facebook II

部が二部リーグ優勝を果た
す成果を生み、京都大学
と二部リーグ入れ替え戦を
戦いました。この試合を多く
のマスコミが取り上げてくれ
ました。女子ラグビー・女子
サッカーについても、テレビや
新聞などマスコミへの露出度
が高まっています。

教学改革についても、華々し
い結果を生み出しています。
文科省の大学教育再生加
速プログラム入試部門にお
いて、私学で唯一採択された
アサーティブ入試への取り組
みが、全国ネットでテレビ放
映されました。

母校の発展は、在学生や
卒業生に自信と誇りを与え
るものと確信しています。

いま、追手門学院大学の
改革は急ピッチです。この
四月からは、新しく地域創
造学部が誕生します。
そして次なる新学部を
構想中です。

〇〇すべては学生のために〇〇
この目標を実現するために、
追大は大きく前進します。
卒業生のみなさんには、社
会に出てからも母校の発展
にご理解とご協力をよろし
くお願いします。



第48代 文化会委員

文化会では多くのことを学びました。団体ごとの意見を聞き、それを反映していく難しさそれが中々出来ないもどかしさ。多くの人間を引っ張って行く責任と、本部を運営していく厳しさがありました。

ですが、本部の仲間たちと団体に支えられて、何とか一年間やり通すことが出来ました。この大学生活の中で、普通では得難い経験ができたこと感謝しています。

そしてこれからは、ここで得た経験を活かして新校友会会員として精一杯努力していきます。

文化会の経験を活かして

第四六期
四八代 元文化会委員長
伊井 新

校友会との四年間を振り返って

第四六期
無所属委員会前委員長
栗生 翔伍

懇親会では、様々な方とお話する機会があり、有意義で非常に貴重な時間でありました。ありがとうございました。

校友会という言葉を聞くと、私の中では茨木市清掃の奉仕活動が一番に思い浮かび

ます。それは、この一年間だけでなく、それ以前から無所属委員会の一員として参加してきたからだと思っています。

さらに奉仕活動中には、茨木市民の方々に声をかけられることが多くあり、それが励みになっており、私の中では、その出来事が非常に印象的に心に残っています。

次世代を担う無所属委員会にも、このような行事を通して各々何かを得てくれるこ



栗生 翔伍さん

とを願っています。

校友会の方々には、数えきれないほどお世話になり、感謝しています。これから無所属委員会をよろしくお願いいたします。



中西 健太さん

次代の四七期体育会本部も校友会の皆さんと協力して何か物にしてくれることを願っています。

今後も体育会本部だけでなく体育会全体のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

野の新学部。農学は、分野が多岐にわたりますが、規模を絞つても、安威の地を活用した文理融合の農学の開設にこぎつきたい。

笑いを含んだ表現コミュニケーション能力の育成も悲願です。この設置には先駆的ゆえに文部官僚の理解が最大の障壁です。大阪ならではの活力ある教学組織をと、念願しています。既設の各学部でも鋭意、改組拡充の検討を願っています。

キャンパスの空間的な制約という、教学改革に先行する課題を克服するために、理事長を先頭に法人に奮闘



学生諸君には、社会的にも注目を集めるなか、自分の能力を限らずに、誇り高い成長を期待したい。



員として母校の為、在校生後輩たちの為にはもちろんの事ながら、新社会人として、この社会奉仕活動から得られた糧を心に、大いに社会に貢献し、ご活躍ください。

また、お目にかかりましょう。

校友会と体育会本部の一年間

第四六期 体育会本部委員長
中西 健太

我々、体育会本部は、校友会の皆さんと緒に活動させて頂いていろいろな事を学ばせてもらいました。その中でも、一番記憶に残っているのは、茨木市の清掃活動です。

この清掃活動をしているときに、茨木市民の方に「頑張つてね」「ありがとう」と声をかけられ、それが支えとなりました。そのことは、今でも忘れられません。

一年の委員長生活を終えて

第四六期 校友会本部委員長
岩本 龍哉

まず始めに、校友会会報第七九号の発行を心よりお喜び申し上げます。

私にとって学生生活で委員長として過ごした一年間は今までにない充実した日々を送ることができました。校友会の皆様と密に接する様になつたのも委員長となつてからでした。

特に校友会の方々と関わつた中で番記憶に残っているのが清掃奉仕活動です。当活動では学校関係者のみならず、地域の方々にもお声掛けいただき、やりがいを感じながら清々しい気持ちで活動することができました。

現在、校友会本部は、第四七期に引き継ぎ、まだまだ勉強不足なところがあり、ご迷惑おかけすることも多々あるとは思いますが、皆様のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

最後になりましたが、私のような未熟者が校友会委員長を務められたのも、皆様の支えのおかげです。

一年間本当にお世話にな



岩本 龍哉さん

りました。

ありがとうございました。

新学部構想の芽吹く年

追手門学院学院長
追手門学院大学 学長
坂井 東洋男

今春創設する地域創造学部は、現在構想中の改組改革案の第一弾で、このあとも文理あわせて様々な新設や改編が俎上にのぼっています。現段階では、学長の個人的な念願にとどまるものも含めると理系では、農学分

「充実」

第四八回 将軍山祭実行委員長
白井 正晴

私はこの春で大学生活を卒業します。その大学生活は楽しく、充実し、また学業のみならずたくさんのことを学んだ四年間でありました。その影には、常に誰かに支えら

願っています。

改革は財政を逼迫させるものであつてはなりません。拡充には経費をともないますが、最低限、単体で支出を補うだけの収入を確保するものでなければなりません。

堅実な財政シミュレーションが、改革検討の大前提にあるべきは自明のことです。

新設学部のみならず、既存学部の志願者の確保、そのためには、本学の力量、社会的な支持と注目の如何が問われるわけです。

志願者の掘り起こしには、教育研究での評価、あるいは、社会貢献での存在感の誇示以外に方途はありません。

昨年度は、スポーツ強化等でささやかながらも突破口が開けたかと自負しますが、

社会に向かつて！

追手門学院大学校友会
副会長 賛田 肇(六期)

追手門学院大学校友会入会、おめでとうございませす。今春ご卒業の皆さんには、在学中より校友会の事業活動に積極的にご協力いただき、誠をもつて厚く御礼申し上げます。

校友会役員の方々のみならず、一般の在校生諸君までもが、大学校友会企画の活動や催しにおいて我々と共に汗を流し、連帯感と達成感を共有して得られたことは、大いなる財産になった事と存じます。

これからは、新校友会会

したOB・OGの先輩方に感謝しています。

私は、次年度から校友会の新会員として校友会からして頂いたこと以上のものを後輩たちに意味あるものとして支援・協力していきたいと思つています。また、追手門学院大学の卒業生であることに誇りを持ちそれを胸に社会で活躍していきます。



第48回将軍山祭実行委員

追大卒同志の パートナーシップを 広めよう

追手門学院大学校友会

副会長 生川 紳一郎
(六期)

我々の母校は来年に創立五〇周年を迎えます。追大卒業生は、二〇歳〜六〇歳代までが存在し、大学校友会ではその会員同士が職域等で情報交換が出来るよう協力し、機会を作ろうと計画しています。

六〇歳をお迎えられる方々には、還暦同窓会を開催。東京・東海・京都・中国・四国・九州の六支部会、文化・体育会の〇B会やゼミ〇B会の開催支援、異業種交換会、現役追大生県人会等を開催する等、参加される会員同士の出会いがあれば現役時代に培った母校愛が変化発展し、年代を超えたパートナーシップが構築されます。

校友会は、少しでも多くの卒業生と大学や現役学生がそれぞれのアイデンティティを保持し、連合体を広める事を惜しみません。

来期二〇二五年には、新しい支部も創設される雰囲気になって参りました。ぜひご参加いただき、追大卒パートナーシップを広めようではないでしょうか。



支部便り

東京支部

「東京支部活性化のために」

支部長 島田 朗仁(十七期)

平成二六年度卒業生の皆様、ご卒業おめでとうござい

ます。昨年、校友会東京支部では十一月八日(土)十四時三〇分より東京スカイツリーの下、レストラン『パラッツオサンクス』にて講演会・支部総会を開催しました。

講演会では、村上亨副学長より追大の現況についてご講演いただきましたまして、近年ス

ポーツを中心に学内は大変盛り上がりつつあるということが良くわかりました。

また、林田会長をはじめ校友会本部役員や他の支部長も多数ご参加いただき、懇親を深めることが出来ました。

私は、在学中ハンドボール部に所属しておりましたが、クラブでも優秀な後輩達を中心となり、〇B会を運営していくことになりました。

将来は、在校生にとっても必ずプラスになる組織になると思います。

私自身も他の支部及び大学との交流を「層深め、校友会東京支部の発展に微力ながら尽力していきたいと考えておりますので、ご支援賜りますよう宜しくお願いいたします。



東海支部

支部長 高井 郁子(九期)

る対人関係のコツ」二〇四年度は、平木宏児先生に「変わる追大」というテーマでお話いただきました。

そして、今年も九月に香川県善通寺市において、総会と講演会を行い、追大の空気を四国の地で味わっていた

さで、昨年十二月に今後の支部活動の参考にするべく、某私立大学の校友会香川支部前支部長を訪ねました。

その香川支部では、総会に毎年一〇〇名近くの参加があり、活動費も潤沢であるとの事。

また、校友会が単なる飲み会だけにならないようにするため、地元香川の貢献を支部の目的の一つに掲げ、活動しているとの事でした。

私は、この面会に刺激を受け「我が四国支部も前出の某大学香川支部に負けないよう、目標を高く持ち、歩みは一歩一歩着実に、支部の発展を目指して活動していこう！」と心新たにしました。

四国在住の皆さん四国支部を皆で盛り上げていきましょつ!!

愛知・岐阜・三重・静岡の四県で構成される東海支部には今年度、六九三名の会員登録がございました。

しかし、まだまだ小規模な活動しかできていないことは否めません。それでも、少しずつ総会に来ていただく方が増えてきています。

今年度の総会には、大学からは経済学部部長森島寛先生にご臨席賜り「私と追手門学院大学との関わり」という

テーマで講演いただきました。また、二期生の東辻広行様が黄綬褒章を受章されましたことを皆でお祝いし、受章のお話を伺うことができました。

まずは会員相互の交流を深めるため、親睦会から始まりましたが、今後は東海四県に各分会が設けられるよう充実した活動を行って参りたいと考えております。

毎年九月初旬の土曜日に校友会東海支部総会を開催いたしますので、ご案内の通知やFacebookや会報での告知をご覧になりましたら、東海地区在住の皆様はもちろん、他地区の皆様も、お誘い合わせのうえご参集いただきますようお願い申し上げます。

京都支部

支部長 岡 正樹(六期)

追手門学院大学校友会京都支部の平成二六年度活動内容を紹介いたします。

・昨年七月二六日 京都支部総会・講演会並びに懇親会

演題「児童福祉の心理臨床現場から」子供を育む家庭のありかたを考える

講師 早樫二男 文学部心理学科一九七四年卒業社会福祉法人盛和福祉会児童養護施設京都大和の家施設長・臨床心理士・同志社大学心理学部客員教授

・十月二三日 京都支部美術館鑑賞会並びに交歓会

アサヒビール大山崎山荘美術館

・本年三月七日「京都支部の集い」開催

演題「地震の揺れと建物・被



災時の対応能力を疑似体験講師 川杵 康夫(十二期生)

校友会京都支部では支部会員の交流を図るべく色々と企画を提案しています。

京都にお住まいの方、並びに京都で勤務されている方の多数参加をお待ちしています。



中国支部

「今後の支部の活動と今後の抱負」

支部長 筒井 弘祐(六期)

中国地区は五県から成っており、毎年どこで総会を開催しようかと迷うところ

す。昨年は、十月四日(土)に岡山の偕行社で、開催いたしました。

当日は、大阪から大学の関係者、校友会の方々がバスで来岡して頂き、無事総会を終えることができ、懇親会は全

日空ホテル二階にて行い、にぎやかに皆様ご歓談いただき、終了いたしました。

今後の抱負としては、若い

方の育成・活性化をはかつていきたい。世代交代も視野に入

れながら頑張っていきたいと思っております。皆様の協力



四国支部

「四国支部を盛り上げていきましょつ！」

支部長 中川 純(二期)

校友会四国支部では、毎年、総会の日に合わせて学院から先生をお招きし、講演会を行っています。

二〇三年度には、中村このゆ先生に「深層心理学から見

「追大生県人会の集い」開催報告と今後の展望

支部・同窓会支援委員会

矢島 秀和(三四期)



昨年六月二日、大学二号館にて、地方出身の現役学生を対象とした「追大生県人会の集い」を開催しました。このイベントは、実家を離れて一人暮らしをしている学生たちの友達・ネットワーク作りを支援するため、また、二〇二六年に大学創立五〇周年を迎える今、校友会(卒業生)と校友会(現役学生)の更なる連携を深める目的で企画いたしました。

当日は、石川・滋賀・兵庫・岡山の各県出身学生が出席し、二方の校友会からは、林田隆行会長をはじめ、各支部長(代理出席含む)にもご出席いただき、挨拶・自己紹

介後のフリートークでは、昔も今も変わらぬ、地方出身者ならではの共通の話題をはじめ、学生生活や就職活動に対するアドバイス等もあり、終始和やかな雰囲気

に包まれていました。

最終的には、全国四七都道府県すべてに現役学生の県人会が設立されていることが理想ではありますが、まずは、母校が創立五〇周年を迎える二〇二六年度中に、現在ある六支部(東京・東海・京都・中国・四国・九州)内の設立を目標に掲げたいと考えております。

支部・同窓会支援委員会では、これからも「広げよう、新しい交流と連携。」を合言葉に、支部・同窓会の設立・運営支援のみならず、母校の主役でもあり、将来の校友会を担う、現役学生を支援すべく、また、両者の架け橋となる事業を企画・展開してまいります。



九州支部

九州支部一同

九州支部と
お勧め観光地紹介

校友会九州支部は、今年で二四年目を迎えようとしています。当初は佐藤先生のおはからいで九州支部の総会では歴代の学長先生がご参加下さいました。

お迎えする校友のメンバーは、大阪出身の方がほとんどで、九州出身の校友が少ない状況でのスタートだったことを思い出しています。

しかも、九州支部の範囲は北緯三四度の関門海峡を最北とし、南は北緯二四度の南西諸島の波照間島までが含まれるうえ、八県を有しています。エリア的には、山口県下関市から北海道に至るまでに相当します。

このような広域な九州支部で活動するには、各県の有志の方の力をお借りすることが支部拡大策としてもベターと考え、地域ごとに総会・懇親会を開催して多くの皆さんに参加をお願いすることになりました。

皆様方の協力のお陰で過去北九州地区・大分地区・熊

本地区・鹿児島地区で開催することができました。

今後は、さらに九州支部校友の皆さんの身近な地域での地域支部活動を推進したく企画しています。

今回は、九州地区の出身の皆さんを始め、転勤等で当地区へ移動なさった方々や全国の他の支部の校友の皆さんに九州支部とお勧めの場所をPRさせて頂いたできます。

本誌では紙面の都合上、鹿児島編のみのご紹介となりますが、校友会ホームページや下記にありますQRコードより、「熊本編」「大分編」「福岡編」「沖縄編」を見ることが出来ます。

当九州支部は他支部よりエリアが広く全体を二つで運営する事が難しい状況であります。各種の企画に参加を希望される方も時間や費用が必要な為、やむなく取りやめる方も多いと思います。

そこで、今後は支部の事務局を置く福岡だけでなく、様々な地域でミニ同窓会形式の校友会を開催して欲しいと願っています。福岡でも青年部の集いや異業種交流会等更にその機会を増やして行きます。

そして、二〇一六年の六月十一日には数多い支部会員で五〇周年記念大会に参加さ

九州支部長 岩崎 陽一(六期)

副支部長 清原 紀男(五期)
(大分地区)副支部長 大平 卓(十期)
(鹿児島地区)

沖縄代表 神崎 義光(十期)

れる皆さんをお迎えしたいと考えています。

どうか今後も皆様方のご理解とご支援を心からお願ひ致しまして、九州支部のPRとさせていただきます。

二〇一五年六月十三日(土)に福岡市ホテルモントレ・スール福岡にて、計画いたしております。

なお、二〇一六年の九州支部の総会は、校友会本部の皆さんのご支援を受けて六月十一日(土)の午後鹿児島市内で実施予定です。九州エリアはもちろん、各支部の皆さんのご参加をお待ちしています。

詳細は、決定次第校友会ホームページやハガキにてご案内いたします。



鹿児島といえば甲突河畔の桜島です。前回も空高く噴煙に驚きました。



桜並木です。近くに高島先生の碑があります。



皆様よくご存じの高島先生ご誕生の地です。碑文には追手門学院の文字が際立っています。熊本の紹介でも高島先生の御名が登場します。(この地や記念碑の近辺の清掃を副支部長の大平氏が続けて下さっていることも紹介致します)

国際交流 in 京都・滋賀

楽しい一日の
バスツアー

経営学部・経営学科

李 天鳳

十月末、校友会主催の留学生日帰りバスツアーで、京都の東映太秦映画村・比叡山と宇治に行きました。バスに乗る前、校友会の方からお菓子を頂きました、うれしかったです。行く途中のバスの中で、自己紹介して、途中の風景を楽しみながら東映太秦映画村に到着しました。まるで、映画のなかに入ったみたいです。

続いて、八つ橋庵とししゅうやかたに行って、昼ご飯を食べました。栄養たっぷりの和食を食べた後、八つ橋という伝統的な和菓子を作ってみました。初めての体験なので、とてもわくわくしながら、作ってみました。完成したら、すぐ達成感があつてとてもうれしかったです。

次は、比叡山延暦寺に移動して、参拝しました。延暦寺

で鐘の響きを感じながら、来年も幸せになるように祈りました。その後、日本では代表的な建築、平等院に行きました。日本の十円玉では、平等院の風景がデザインされているので、留学生たちは十円玉を出して、わくわく照らし合わせて、写真を撮りました。

私は、来日してもうすぐ三年になりますが、日本での紅葉見が初めてです。

校友会の方々、本当にありがとございました。



紅葉の旅

経営学部マーケティング学科

張 志強

十一月校友会主催の京都日帰りバス旅行に参加して、本当に楽しかったです。

今回の旅行に名前を付ければ、「紅葉の旅」が最適切

だと思っています。

スクールバスは阪急茨木駅を出発し、秋晴れの澄み渡る空の下、先に東映太秦映画村に到着しました。江戸や明治時代など昔の街並みを再現したオープンセットがあり、時代劇の撮影が見学できます。映画の変遷や映画作りについて学ぶことや、時代劇扮装の館」では時代劇のスターに変身体験もできます。

食事の時間になって、みんな美味しくて綺麗な和食を食べてから、生八ツ橋作りも体験しました。

その後、バスが比叡山延暦寺へ移動し、本格的な紅葉を見できました。

「美しすぎる！ファンタスティック!!天国だ!」周りの人がずっと言っていました。自分にとって、京都の紅葉は言葉にならない美しさです。実り多い秋の一日を過ごせた事に感謝いたします。

「年末市内一斉清掃」
活動に参加して

社会学部教授

山本 博史



「わたくしたち 茨木市民は」から始まる「茨木市民憲章」には、「環境をととのえて 美しいまちをつくりましょう」という一文があります。昭和四一年制定のこの市民憲章を受けて、毎年十二月の第二日曜日に、「茨木市住みよいまちづくり協議会」提唱による「年末市内一斉清掃」が行われています。

本学は「同協議会」に「追手門学院大学・校友会」として加盟していますので、昨年二月の一斉清掃にも、校友会から林田隆行会長以下三名、

水野浩児先生のゼミ生二名(菱田君と土肥君)と私の合計六名で参加し、午前九時から昼頃まで活動しました。

植え込みの中に隠すように捨てられた瓶や缶や吸い殻、車から道路わきに捨てられた吸い殻、元茨木川緑地内に捨てられた弁当箱などを見ると悲しくなります。でも、清掃活動をしてゴミが無くなる気持ち少し爽やか。

かつてお世話になった、日ごろお世話になっている茨木市の美化のために、校友会会員・教職員・学生が一緒になって、これからも清掃活動をお願いしますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

最後になりましたが、校友会では在校生にも呼びかけ、オープンキャンパスの日に、阪急・JRの駅周辺を学生達と清掃しています。こちらもご協力のほどよろしくお願いします。



- 1904 (明治37)年 東京生まれ
 1943 (昭和18)年 文学博士(東京帝国大学より授与)
 1953 (昭和28)年 大阪大学文学部教授に就任
 1964 (昭和39)年 追手門学院長に就任
 1966 (昭和41)年 追手門学院大学開学 初代学長に就任
 1980 (昭和55)年 逝去(76歳)



**初代学長 天野利武先生
没三五年**

追手門学院大学校友会
副会長 吉田 浩幸(六期)

追手門学院大学の創設者であり、初代学長でありました天野利武先生がお亡くなりになりましたのは、一九八〇(昭和五五)年十二月十五日、享年七十六歳でした。今年が没後三五年です。天野先生は、追手門学院の創立八〇年記念事業において四年制大学を設立するために、取り組みに着手し、大学用地の選定、文部省への設立認可申請・教員組織・学舎の建設等、さらに大学設立の資金作りと大変なご尽力をされた方でありました。我々卒業生が、共に学び充実した学生生活が送れたのは、天野先生のおかげと感謝しております。また、次年度には、大学創立五〇周年を記念して初代学長天野利武先生の墓参を計画しています。

再び安威の丘で 校友会会長 林田 隆行

一昨年(二〇一三年)、校友会は、將軍山祭の期間中に優勝ホールにて校友会総会開催し、多くの卒業生のみなさんにご出席いただき、盛大に開催することができました。二〇一四年のホームカミング・デーは、昨年同様、追手門学院大学の創設者・天野初代学長の胸像への献花で幕を開けました。今年から、ホームカミング・デーは、校友会総会・懇親会・大同窓会の三部構成ですが、そのすべてを校友会が主催させていただく事になりました。この日は將軍山祭の初日。開会宣言に続いて、大学校友会から山祭実行委員長へ、將軍山祭援助金を贈呈させていただき、その後、鏡割りと振る舞い酒でお祭り気分は盛り上がりしました。この後、第一グラウンドへ移り、今度は体育祭の開会式。曇り空のお天気もなかったので、卒業生の皆さんはぜひご参加ください。二〇一五年も、また將軍山祭の時期に校友会がホームカミング・デーを開催します。二〇一五年も三度、安威の丘で！お待ちしております。

H C実行委員長のお礼の挨拶

ホームカミング・デー実行委員長 美濃岡 伸也(七期)

二〇一四年度のH Cは、初めて校友会主催で行いました。雨の降る足元のわるい中にもかかわらず、多数ご参加いただきましてありがとうございました。総会は、ギター部OB細川鋼一氏の演奏により開会し、式次第通り滞りなく進行することが出来ました。

懇親会は、ウッド・グループの演奏で始まり和やかな雰囲気の中無事、終了の運びとなりました。来年度の開催につきまして、

は、今年の反省をふまえ「参加された校友の方々により楽しんでもいただける会を目指す」ということで、次期委員長に申し送りをいたしたいと思っております。

水野ゼミ 同窓会報告

経営学部

平成二六年九月十五日大阪城スクエアにて経営学部水野ゼミ同窓会が開催され、OBと現役生約九〇名が参加しました。

現役生から現在の活躍が報告され、ガンバ大阪との提携につながったエコ推進活動の原点となった活動をしていったOB先輩から喜びの声が上がついていました。

現役学生は、OBから就職などの指導をしてもらうなど、有意義な時間を過ごすことができました。改めて追手門学院の絆を確認することができました。



体育・文化OB 連合会発足

体育・文化OB連合会

会長 酒井 晴生(五期)

卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。皆さまは長いようで短い四年間の学生生活を謳歌されました。特に部活動に励まれた方々は様々な思い出が脳裏を駆け巡っている事でしょう。

二〇一三年から二〇一四年に掛けて体育会、文化会のクラブ、同好会のOB会代表者会議を開催しました。

目的は各々のOB会の意見交換を通じて部活動の現状を把握し所属する部員が安全、安心に活動出来るようにサポートして行く事です。昨年の十月にOB会代表の方々にOB会連携組織である「体育・文化OB連合会」設立のご承認を頂きました。本年四月一日の正式発足に向けて準備を進めております。今後、現役との交流時にOB連合会の名が挙げられると推察いたします。

卒業生の皆さまの所属クラブ、同好会でまだOB会が

未結成あるいは頓挫されているようであれば、OB連合会が結成のお手伝いをいたします。新校友会員の皆さまから先輩方に働き掛けをお願いいたします。



体育文化振興支援委員会からの お知らせ

体育文化振興支援委員会

上田 静生(四期)

この五〇周年という記念すべき機会に「創部五〇周年記念OB会」を開催される各団体OB会に対して、「体育文化振興支援委員会」から、各団体のOB会開催のための「会場費」などの援助を企画しております。ふるっとお問い合わせ・お申し込みをお待ちしております。

また、「校友会 体育文化振興支援委員会」では、OB会の組織が未整備の各クラブの方々や、OB会名簿等が

未整備で、なかなかOB間のご連絡の取れないないクラブに対して、OB会活動支援の一環としてご助力できることがあれば、支援を惜しまない活動をしておりますので、校友会事務局経由にてご遠慮なくご相談ください。

校友会は、二〇一六年七月二日に「大学五〇周年」の祝賀会を予定しています。

このイベントにも、各クラブOB会関係者の方々の参加をお願いいたします。

サッカー部OB会 発足のお知らせ

野村 國男(六期)

この度、体育・文化OB連合会の発足に合わせて、サッカー部も正式なOB会を発足させることになりました。

つきましては、現在二期、九期までのメンバーは把握しておりますが、十期以降のOBの方の所在・詳細がわかりません。ぜひ、校友会事務局へご連絡いただきたく、ご案内いたします。

※会員資格：追手門学院大学サッカー部在籍年以上の方

四六年前の教室で 総会を開催

追手門学院大学校友会
事務局長 野出 靖宏(十四期)

二〇一四年度の総会は、二号館2404教室で開催となりました。南側の窓から見える風景には、新しい1号館や中央棟・六号館があり、反対に北側の窓から見える風景は、五〇年前そのままでの山林で懐かしく思っていたいたのでは無いでしょうか。

総会には、約二五〇名の校友の皆様に参加していただき、ギター演奏者 細川鋼二氏(五期)のオープニングから始まり、校友会活動における各委員会の報告や事業報告・事業計画・予算などの例年の内容に加えて、体育・文化・OB連合会の設立についての報告があり、各クラブのOB会の活性化に取り組むことになりました。

総会がリニューアルされて二回目となりますが、今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



開設当時の1号館と2号館 2号館は最初3階建てだった。



二〇一四年ホームカミング・デー 大同窓会を振り返って

体育文化振興支援委員長

永井 秀明(五期)

新卒業生の皆さま、おめでとうございます。社会でのご活躍を全校友がお祈りしております。

さて、二〇一四年十一月二日(日)に開催されました、校友会総会は大勢の校友の方々にご参加頂きました。

その後の懇親会も大盛況でした。引き続き開催されました大同窓会には教室を提供いたしました二号館・四号館に学部・学科・クラブ・同好会、合わせて二団体が参集されました。

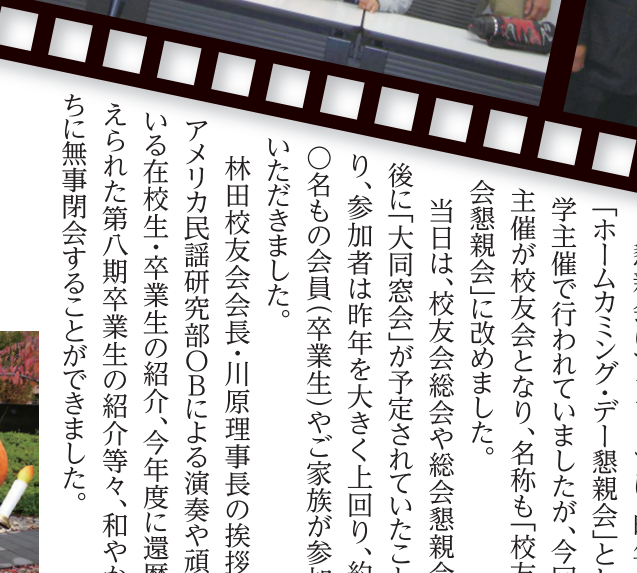
懐かしい恩師や旧友との思わぬ再会で喜ぶ方、OB会結成の為に白熱した議論を繰り広げる団体、大先輩からのクラブの歴史に聞き入るOG・OB達の様々な光景がありました。

本年も、大同窓会を企画いたしますので、多くのクラブ・同好会の教室利用申し込みをお待ちしております。

来年の二〇一六年度は、大学創立五〇周年の大きな節目の年です。

叡智を集めて多彩な行事を成功裡に導いて行く為に、校友の方々のご尽力を賜りたいと考えております。

五〇周年は、二〇一五年よりスタートです!! 全校友の皆さま宜しくお願い致します。



追手門学院大学 校友会主催総会 懇親会について

森 嘉一(七期)

二〇一四年十一月二日(日)母校追手門学院大学において、第四八回将軍山祭が開催され、同時に校友会総会・総会懇親会・大同窓会が開催されました。

懇親会につきましては、昨年までは「ホームカミング・デー懇親会」として大学主催で行われていましたが、今回から主催が校友会となり、名称も「校友会総会懇親会」に改めました。

当日は、校友会総会や総会懇親会終了後に「大同窓会」が予定されていたこともあり、参加者は昨年を大きく上回り、約五〇〇名もの会員(卒業生)やご家族が参加していただきました。

林田校友会会長・川原理事長の挨拶の後、アメリカ民謡研究部OBによる演奏や頑張っている在校生・卒業生の紹介、今年度に還暦を迎えられた第八期卒業生の紹介等々、和やかなうちに無事閉会することができました。



追手門学院大学「九期生の集い」

(昭和五三年卒業)

九期生のみなさん、還暦を迎えることを同期で喜び合いましう。大学からは離れますが、梅田で集まりやすい場所を用意させていただきました。

恩師の先生方にもご出席をお願いしておりますので、お誘いあわせの上、ご参集くださいますようお願いいたします。お問い合わせは、校友会事務局までお願いいたします。

TEL: 〇七二・六四三・六三三五



Jump to World!!

私たちチアリーディング部 SOLDIERSは、二〇一五年二月に行われたアメリカフロリダ州オーランドデイズニールドで開催された世界大学チアリーディング選手権に出場することを目標にチームスローガンである「飛躍」をモットーに年間練習に励みました。コーチが変わり新しい体制のもと、全てにおいて初めての経験ばかりでした。戸惑うことも多く、時には感情をぶつけあったり、涙を流したりすることもありました。この九人だったからこそ乗り越えられたものがあります。



チアリーディング部

祝 世界3位



その結果School&College Competition 2014にて準優勝することができ、世界大学チアリーディング選手権出場という目標も達成することができました。

出場が決まった時は、チーム全員で嬉し涙を流しました。本当にたくさんの方に支えて頂いているからできたことだと思っています。

そして今年の目標は、再びこの世界大学チアリーディング選手権に出場すること、さらに上を目指すため、チーム全体のレベルアップです。

本学のチアリーディング部 SOLDIERSが二月十六日(金)十八日(日)にアメリカ・フロリダで開催されたWorld University Cheerleading Championship「世界大学チアリーディング選手権大会」に出場し、ALL GIRL部門で四位(十三チーム中)、国別対抗ではアメリカ・カナダに次ぐ、三位という好成績を納めました。帰国後、二月六日(金)に学長に報告会を行い、同日に学生等MVP表彰が授与されました。

男子サッカー部

今年は一部昇格
総理大臣杯出場

去年は二部Aリーグ昇格を目標に掲げ、一年間取り組んできました。

結果入れ替え戦で勝利し見事に二部Aリーグに昇格することができました。

二部Bリーグでは、どの試合にも負けられないプレッシャーの中で、本来の力が出せずに相手の勢いに押されてしまい格下のチームに負ける試合がありました。改めて、サッカーの難しさを知るとともに、個々の力だけでは勝てないことが分かり、チームワークの大切さに気づかされました。八〇人近い部員が団結する事の難しさを感じましたが、最後は全員が同じ目標を持てたことが成果につながったと思います。

男子サッカー部は一定の学業成績を維持することが試合出場の条件であり、文武両道を目指すクラブです。真の学生スポーツを意識して活動しています。



今年の目標は、一部昇格と総理大臣杯出場です。秦副学長が追手門学院大学サッカー部総監督に就任していただき、チームは団結しています。ぜひ、目標を達成していきます。

また、追手門学院大学サッカー部が周りの人から応援されるようなクラブにしていきたいと思っています。

これからも応援の方、よろしくお願ひします。

アメリカン フットボール部



こんにちは。追手門学院大学アメリカンフットボール部です。まず初めに昨年度、我がアメリカンフットボール部を様々な面からサポートしてくださりました学校関係者の皆様、そして会場まで足を運んで頂き温かい声援を送ってくださいました皆様に、厚く御礼申し上げます。

私達アメリカンフットボール部は、昨年関西学生アメリカンフットボールリーグ Division Aブロックにてリーグ首位を獲得することができました。そして嬉しい事に、我がアメリカンフットボール

追大トピックス 躍動するスポーツクラブ

部は三八年ぶりとなる二部との入れ替え戦の挑戦権を手にする事が出来ました。

昨年度、私達は毎日練習を行いその中で辛い事も多くありましたが努力を重ねこの入れ替え戦に向けて準備を行いました。しかし二部への壁はとても厚く入れ替え戦では敗退しとても悔しい経験いたしました。今年度は、この悔しさをバネとしてより一層、一部復帰へ向けて努力し精進していきたい所存です。今年度も応援の程よろしく願ひいたします。

女子サッカー部



二〇一四年度卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。追手門学院大学で四年間学んだことを、これから始まる社会人としての人生に活かしてください。この大学の学生だったことに自信と誇りを持ち歩んでいくください。

私たち女子サッカー部は、今年で創部二年目のチームです。今年、関西学生女子サッカーリーグに初参戦し、春期リーグでは、決勝戦まではいったものの勝ちきることができず、入替戦までもつれ込み、惜しくもPK戦で敗れてしまいました。

秋期リーグでは、この悔しさをはらすため、どんなに辛い練習でも全員で励まし合いながら頑張りました。その結果、見事PK戦の末に勝つことができました。二部に昇格することができました。この結果は、応援してくださっている全ての方々のおかげであり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。次の二部リーグという舞台は決して甘くはなく、今まで以上に二人一人が高い意識を

女子ラグビー部

こんにちは。追手門学院大学女子ラグビー部主将の大島千佳です。

昨年度は様々な面から多大なサポートをして下さいました学校関係者の皆様、OB会の皆様、そして試合の際は会場まで足を運んでくださり暖かい声援を送ってくださいました皆様には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。厚く御礼申し上げます。

昨年度の女子ラグビー部は、基礎練習に多くの時間を割き、ラグビーをするうえで一番大切な基礎作りをしつかりとやってきました。試合では、勝ったり負け



たりと、良い結果報告をする事はあまり出来ませんでした。が、選手はしっかりと手ごたえを感じています。

今年は、昨年度に作った基礎の上にしっかりとプラアルファしていく、一歩一歩着実に力をつけていけるよう頑張ります。結果ばかり焦るのではなく追手門学院大学女子ラグビー部としての本物の力としっかりとした伝統を作っていく為に、日々の時間を大切にチーム丸となって精進してまいります。

本年度も引き続き御支援、御声援をどうかよろしくお願ひいたします。

追大ニュース

ロザン
客員教授就任!!

よしもとお笑いコンビのロザンが九月から追手門学院大学客員教授に就任し、在学生や受験生、地域の方々へ特別授業を行っています。

十二月八日(月)は社会学部・森真二教授の授業「文化



と社会二」内で特別授業が開催されました。

受講生たちからは、「ことは」「コミュニケーション」に関する多くの質問があり、菅・宇治原の両客員教授からの回答に対し、時に熱心に時に大いに笑いながら聴き入っていました。

教職を目指す
卒業生をバックアップ

追手門学院大学では、教員を志す在学生や卒業生を支援するため「教職支援センター」が開設されています。今年度もすでに、新編集の「教員採用試験対策ガイドブック」による「教職スタートアップガイダンス」・「追大卒業生教員との交流会」・「一般教養模擬試験」・「教職教養・一般教養対策勉強会」・「採用試験直前対策講座」・「個人面談」などを実施して、多数の在学生・卒業生がそれらに

参加しました。今後さらにはさまざまな支援を予定しています。

教職をめざす本学学生に、ぜひセンターのご活用をおすすめいただければと考えております。

皆さまの中で、教職をめざしている方がおられれば、ぜひセンターをご利用ください。また、すでに教職に就かれている方は、今後の後輩らの激励のため、講演会・座談会などの講師をお願いすることもあるかと思いますが、そのときにはご協力をお願いいたします。

なお、本学では教職課程履修卒業生の情報がまだまだ十分ではありません。そこで、このたび教職支援センターが中心となり、情報の収集をして、教職志望の卒業生の方々への支援等に役立てたいと考えております。つきましては、近況などをお知らせくださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先
教職支援センター
TEL:〇七二一六四一九八七
kyoshi@office.otemon.ac.jp

二〇一四年度、
経営学研究科
『中堅・中小企業経営特論』の
授業で卒業生の方々の
ご協力を頂きました。

この大学院の授業は、追手門学院大学の卒業生や大学の在校生にも開放され、中堅・中小企業の実例を紹介しながら、事業承継や企業内部でのイノベーション・社内創業・アントレプレナシップについて学びました。

中堅・中小企業の経営について、実例を織り交ぜて経営者とのディスカッションを行いました。

受講生からは、実際の経営者の声をお聞きすることが出来て、教科書では学べないことを勉強できたという、感謝の感想が寄せられています。

10月04日
中堅・中小企業経営の実例提示と議論
有限会社 五感 浅田美明氏

10月18日
中堅・中小企業経営と事業承継
株式会社 石本商會 賀田肇氏

11月08日
中小企業経営とサステナビリティ
ミノル化学工業 株式会社 押川新一氏

11月15日
中堅・中小企業と国際化:その実態と問題点
株式会社 生川商店 生川紳一郎氏

地域創造学部開設!!

西日本の私大では初。地域経済・地域産業を学ぶ「地域経済・事業創造コース」、地域発展の力を握る専門知識を修得する「観光・まちづくりコース」、地域発展のためのプロデュース能力を身につける「都市文化・文化創造コース」の三コースを設置。

「地域の宝物を発見する」・「地域のアンテナになる」・「地域のNo.1をつくる」という四つのミッションのもと、学生の自発的な活動を促していきます。

アサーティブ入試が誕生!!

アサーティブプログラムは職員が高校生に対しガイダンスと個別面談を繰り返します。その上で独自のシステムで基礎学力の向上と課題発見能力・論理的思考を育んでいきます。合格者には、入学前学習が課され、入学後はシラバスの活用・授業への参加意欲の向上・各種活動へ積極的参加ができ、新入生の中心的存在となることが期待できます。

「大学自慢コンテスト」
総合優勝報告

広報課 谷ノ内 識
一貫教育課 森岡 正樹
人事課 村上泰市郎

昨年十一月に岩手県で開催された第八回大学人サミットいわてカレッジ二〇一四「大学自慢コンテスト」に、私たち職員三名で結成した追手門学院大学チームは初めて出場しました。東北での開催ということもあり、アウェー感がとてもありましたが、目標としていた総合優勝を果たすことができました。大変うれしく思っております。

今年の大学人サミットには全国から約三〇名の国公私立大学の教職員・学生が参加しました。サミットの代名詞ともいえる「大学自慢コンテスト」には、全国公募を経て、事前にエントリーした本学チームを含む十校が出場しました。「大学自慢コンテスト」は各大学の自慢できる個性を会場の人たちに九分間プレゼンテーションし、会場全員による投票で審査を行うものです。審査項目は、「愛校心が伝わり

ました」や「大学自慢に感動しました」など五つの部門からなり総合順位が決まります。

本学チームは「学生・教職員のつながりやすさNo.1」をテーマに、職員と学生、学生と教員、教員と職員の、合わせて三つのつながりの事例を会場に熱く訴えかけました。総合優勝に加え、部門別でも「大学自慢に感動しました」で一位をいただくことができました。このような機会とご支援をいただいた学院関係者の皆様に改めて御礼申し上げます。

追手門ファミリー入試
(仮称)を新設します!!

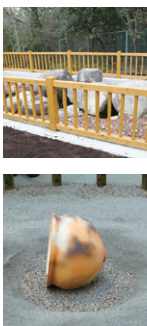
追手門学院大学では、二〇二六年度入試より卒業生

の親族を対象とした「追手門ファミリー入試(仮称)」の新設を予定しております。出願条件や入試日程などの詳細については、追手門学院大学入試課 TEL:〇七二一六四一九六四四までお問い合わせください。

学内の
「將軍山第一地点遺跡」
「真龍寺古墳」の
見学が出来ます

大学創立五〇周年記念事業として、キャンパス内にあります大学建設当時から現状保存していました「將軍山第一地点遺跡」と、七〇年に当時の考古学研究会が発掘・調査した「真龍寺古墳」の整備が終了し、このほど一般公開が始まりました。

「將軍山第一地点遺跡」平日午後二〇時～午後四時まで一般公開(大学の定める休日を除く)。「真龍寺古墳」の見学は事前予約が必要です。問い合わせは同大広報課 TEL:〇七二一六四一九五九〇

第一回追手門
グッズコンテストを
開催しました

追手門グッズコンテストの趣旨は、様々な学部の多くの学生に「ビジネス」ということに関心を持つってもらうことです。

このコンテストでは、追手門の知名度向上に寄与するグッズ、およびその活用方法のアイデアを募集しました。第2次審査では、グッズのアイデア(有用性・宣伝効果・実現可能性)、第2次審査では、第2次審査からの改善・発展度合「プレゼンテーション」能力に重点を置いて学生に競ってもらいました。

優れた案は、ベンチャービジネス研究所が中心となって商品化する可能性もあつて、追手門学院大手前高校からの六組の応募も含めて四九組が第2次審査に申し込みがあり、二〇一四年六月二二日(土)に二次審査を「グッズプラン発表会」として実施し、十八組のプレゼンテーションが行われました。

その結果、①レターセッ

ト、②チロルチョコ、③飴(金太郎飴、キャンディー)、④A4ファイル、⑤おうてもんうちわの評価が高く、商品化が進められました。



梅田サテライト

大阪梅田サテライトでは、学生の就職活動等を支援するとともに、学院・大学主催の行事、教育研究活動・産官学連携活動・卒業生の情報交換や交流の場として活用できる施設です。交通の便もよく、どなたでも幅広くご利用いただけます。

